



# 燃える滝二の創造

No. 27

文責：校長 岡田

## ■ 1年：心の健康講演会 ■ 11 / 5 (水)

講師 未来の風せいわ病院

理事長 智田文徳 Dr. 教育支援室長 多田淳子先生

内容 中学生のための命の授業プラン (SOS の出し方・受け止め方)

演題 みんなで生きる～精神科医として今中学生に伝えたいこと～



(智田 Dr.のお話より)

人は苦しみの中で成熟し、苦しみの中で成長するのです。苦しみが多かったという事は、充実していなかったという事とは異なるばかりか、むしろ、それは逆だと言えるでしょう。

(生徒の感想より)

私の親友も人間関係のことで悩んで学校を休んでいます。ですが、今までは「私は何もしてあげられない」という思いがありましたが、今日の授業を受けて、「誰かに相談することで解決できる問題がたくさんある」ことを知ることができました。なので、その子がこれからの自分の人生を楽しく好きなことをして生きていけるように、私にできることは何かということを考えて生活していこうと思いました。

## ■ 後期生徒総会 ■ 11 / 7 (金)

代替わりを終え、1・2年生が主体となる(新)生徒会が始動しました。後期生徒会スローガンは、

## 『こえる』

「超える」 中間テストの合計点を「超える」

前回の記録を「超える」、結果を「超える」

限界を「超える」、想像を「超える」

昨日の自分を「超える」

「越える」 冬を「越える」、恥ずかしさを乗り「越える」

過去の先輩を「越える」、困難を乗り「越える」



私たちは毎日、小さな目標やハードルを超えようと努力しています。この「こえる」という言葉には、毎日の学校生活をみんなで頑張ろうという願いが込められています。私たちは、前期生徒会が創りあげてきた「一」の活動を継承します。そして、全校生徒の皆さんに、前期で高めたものの質をさらに高める気持ちになってほしい、という願いを込めて、このスローガンを設定しました。また、学校が毎日楽しいと思える人ばかりではなく、学校が楽しくない、嫌だ、と思っている人もいるかもしれません。そんな仲間にも、まずは小さな目標を立て、それを「こえる」ことで達成感や楽しさを感じてほしい、そんな願いも込められています。

## ■ 東北中学校駅伝競走大会 ■ 11 / 8 (土) 秋田県立中央公園陸上競技場

◆ 男子 (22チーム)

&lt; &gt; 総合順位 ( ) 区間個人順位

1 区 3.1km	2 区 3.0km	3 区 3.0km	4 区 3.0km	5 区 3.0km	6 区 3.0km	総合成績
留場健心 2 <8> 9:10 (8)	君成田楓太 2 <7> 9:27 (8)	須藤虎冨 3 <7> 9:39 (8)	田村依吹 2 <5> 9:39 (6)	伊藤大翔 3 <11> 10:07 (19)	本堂琉楓 3 <9> 9:35 (9)	第 9 位 57:37

今年春からの大躍進で、県大会3位入賞を果たし、手に入れた東北大会出場権。男子駅伝部は東北大会に出ることに満足することなく、さらに上を目指し努力を続け、この東北大会で9位という見事な結果を残しました。

そして春から追いつけてきた滝南中・滝中と肩を並べ、ついに滝中に追いつき、追い越すことができました。3年生たちが作ってくれた今年の礎が、来年春につながると確信しています。先輩から後輩へ、一本の櫓がしっかり繋がった今大会、今年一年でした。特設駅伝部の皆さん、本当にありがとう。お疲れさまでした。

